

平成 21年 2月

# 上田康仁 学位論文審査要旨

主 査 汐 田 剛 史  
副主査 井 藤 久 雄  
同 清 水 英 治

## 主論文

Synergistic cell growth inhibition by the combination of amrubicin and Akt-suppressing tyrosine kinase inhibitors in small cell lung cancer cells: Implication of c-Src and its inhibitor

(肺小細胞癌細胞におけるamrubicinとAkt抑制チロシンキナーゼ阻害薬の相乗的細胞増殖抑制効果：c-Srcとその阻害薬の関連について)

(著者：上田康仁、井岸正、橋本潔、陶山久司、荒木邦夫、澄川崇、武田賢一、中崎博文、松波馨士、小谷昌広、重岡靖、松本慎吾、清水英治)

平成21年 International Journal of Oncology 掲載予定

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は肺小細胞癌の臨床において使用されることの多いamrubicinとAkt抑制薬の併用効果を肺小細胞癌細胞株において検討し、さらに臨床使用可能なチロシンキナーゼ阻害薬を用いて同様の実験を行い、c-Srcを抑制することでamrubicinの感受性を増強させることを示したものである。また免疫染色による検討で肺小細胞癌組織のc-Src発現頻度が高いことも併せて示した。本論文の内容は肺小細胞癌治療の標的としてc-Srcの可能性を示唆するものであり、臨床腫瘍学の分野で明らかに学術水準を高めたものと認める。